

《本号の表紙絵》

順天堂（佐倉）

表紙は明治27年（1894）に撮影した佐倉の順天堂の表門と玄関である。創立者佐藤泰然が上総国佐倉に順天堂を開いたのは天保14年（1843）であった。佐藤泰然はそれまで江戸薬研堀で蘭学塾和田塾を開いていたが、この年、佐倉に土地を求め、蘭学塾を開設して、順天堂と命名した。いま順天堂大学に儒医で、隸書の書家として著名であった姫路藩・藩医山田安朴がこのときに「順天堂」と揮毫した扁額が残る。表紙の順天堂は天保14年に泰然が最初に建てた順天堂と道を挟んで反対側に建てたものである。先年、千葉県の文化財に指定されるにあたって建物を調査したとき、安政6年の棟木が見付かった。この年は2代目佐藤舜海（尚中）が泰然の家督を継いだ年であり、ここが若夫婦の住居となり、旧宅には泰然が住んでいたと思われる。因みに、明治になって佐倉の順天堂を継いだ佐藤舜海（岡本道庵）は明治27年に裏に2階建て病棟を付け足して、佐倉順天堂病院と名を改めた。

（酒井 シヅ）